

# 振興事業

## 江戸東京の歴史に関する資料の展示等

企画展における経営目標を達成するため、コストを抑え、協賛金を導入し、広く都民に告知し、クオリティを高め、入館者を増やす、という5つの課題に取り組むとともに、大手マスコミと「共同出資方式」による共催を積極的に採用した。

さらに、企画展1本ごとに「3T戦略」(Target:対象入館者, Timeliness:時宜, Top of sales point:目玉資料)を策定のうえ、開催の意義とそれに基づく方向性を明確にし、かつ広報宣伝を戦略的に行った。その結果、16年度の企画展入館者数50万人の経営目標を達成し、延べ268日間の会期に計67万0839人(ドール展7,505人含)の観覧者を迎えることができた。

### 1 第1回企画展 NHK大河ドラマ「新選組」展

期 間 平成16年4月3日(土)～5月23日(日) 延べ47日間

会 場 江戸東京博物館 1階企画展示室

主 催 (財)東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館、  
NHK、NHKプロモーション

協 賛 ハウス食品

内 容 平成16年度のNHK大河ドラマの関連展覧会。多摩出身の新選組メンバーの遺品を中心に、幕末から明治維新に至る変革期の歴史資料を通して、激動の時代に翻弄された若者たちの姿を描く。

観 覧 料 一般1,100円、大学・専門学校生880円、  
小中高生・65歳以上550円

関連事業 ギャラリートーク 2回  
(人気漫画『風光る』発行所の小学館とのタイアップ企画)  
講演会 3回

- ・4月9日「京における新選組」木村幸比古(霊山歴史館学芸課長)
- ・4月16日「新選組と多摩」小島政孝(小島資料館館長)
- ・4月26日「新選組展のみどころ」市川寛明(当館学芸員)

入場者数 計127,473人 1日平均 2,712人

### 2 第2回企画展 「発掘された日本列島2004-新発見考古速報-」展

期 間 平成16年6月1日(火)～7月7日(水) 延べ32日間

会 場 江戸東京博物館 1階企画展示室

主 催 (財)東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館、文化庁

共 催 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会

特別協力 朝日新聞社

協力	インターネットミュージアム事務局
後援	NHK
協賛	株式会社ジャパン通信情報センター、株式会社東都文化財保存研究所
賛助	株式会社都市総合計画
内容	毎年、全国で1万件を数える埋蔵文化財の発掘調査が行われている。しかし、一般の人びとがその成果を実際に目にする機会は、たいへん限られている。そこで最新の発掘調査の中から、とくに注目される出土品を中心に紹介するとともに、考古学資料に親しみながら、「埋蔵文化財保護」に対する理解を深めてもらう展覧会とした。その他、東京会場のみ独自の企画として「江戸と国元」の特別展示を実施。
観覧料	一般500円、大学生・専門学校生400円、小中高生・65歳以上250円
関連事業	10周年記念講演会 平成16年6月12日 ワークショップ「泥メンコづくり」 8回（毎週土日開催） 小中学生への特別展示解説 学生ボランティアによる展示解説（常時）
入場者数	計31,760人 1日平均 993人

### 3 特別企画展

「英国ドールハウス」展	
期 間	平成16年7月1日（木）～平成16年7月15日（木） 延べ13日間
会 場	江戸東京博物館 1階会議室
主 催	（財）東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館 英国ドール展実行委員会
内 容	建物やインテリアを1/12サイズで実物さながらに再現するミニチュアアートで英国最大級のコレクションを有する“Maple Street”ドールズハウス&ミニチュアミュージアム所蔵品から、英国のくらしをテーマにした60点を日本初公開した。
観覧料	一般600円、中・高校生400円、小学生以下無料
入場者数	計7,505人 1日平均 577人

### 4 第3回企画展 サンクトペテルブルク古都物語

「エルミタージュ美術館展」 エカテリーナ2世の華麗なる遺産	
期 間	平成16年7月17日（土）～10月17日（日） 延べ80日間
会 場	江戸東京博物館 1階企画展示室
主 催	（財）東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館、 TBS、毎日新聞社
後 援	外務省、文化庁、ロシア大使館、TBSラジオ
協 賛	新光証券
協 力	ロシア国立エルミタージュ美術館、日本航空

企画協力	東映株式会社
内 容	ロシアの文化都市サンクトペテルブルク建都300年を記念し、そのシンボルであるエルミタージュ美術館のコレクション127点を公開。特にロシア黄金時代を築いたエカテリーナ2世の名品を通して、18世紀のヨーロッパロマンを紹介する。
観 覧 料	一般1,300円、大学・専門学校生1,040円、 小中高生・65歳以上650円
関連事業	講演会 2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・7月19日「女帝エカテリーナとその時代」池田理代子（劇画家・声楽家）</li> <li>・8月7日「エルミタージュ美術館物語：西洋絵画を中心に」 千足伸行（成城大学教授）</li> </ul> 映画上映会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月4日「エルミタージュ幻想」（デジタルハイビジョン作品・解説付）</li> </ul>
入場者数	計290,410人 1日平均 3,630人

#### 5 第4回企画展 「大(Oh!)水木しげる」展

期 間	平成16年11月6日(土)～平成17年1月10日(月・祝) 延べ50日間
会 場	江戸東京博物館 1階企画展示室
主 催	(財)東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館、朝日新聞社
協 賛	株式会社やのまん
協 力	水木プロダクション、水木しげる記念館、フォルスタッフ
内 容	水木しげるが関わってきた紙芝居、貸本、漫画雑誌は、そのまま昭和のメディア・文化を物語る世界である。氏の作画生活50周年を振り返り、その膨大な画業と東京の関わりを紹介する。
観 覧 料	一般1,100円、大学・専門学校生880円、 小中高生・65歳以上550円
関連事業	上映会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月6日「水木しげる初期テレビ作品ビデオ上映会」（1日3回）</li> <li>・11月13日(土)～1月10日(月・祝)の金土日曜・祝日 「ロシア映画 妖婆 死棺の呪い」</li> </ul> 講演会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・11月27日「水木しげるさんの妖怪探検」荒俣 宏（作家・博物学者）</li> </ul> 講談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月25日「新作講談 水木しげる」田辺一鶴（講談師）</li> </ul>
入場者数	計77,043人 1日平均 1,541人

- 6 第5回企画展 「没後100年記念 フランスの至宝 エミール・ガレ展」
- 期 間 平成17年1月22日(土)～平成17年4月3日(日)  
延べ62日間(内、平成16年度 59日間)
- 会 場 江戸東京博物館 1階企画展示室
- 主 催 (財)東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館  
日本経済新聞社、テレビ東京
- 後 援 フランス大使館
- 協 力 日本航空、財団法人北澤美術館、ベル・デ・ベル
- 企画協力 アートプランニング レイ
- 内 容 アール・ヌーヴォーを代表する芸術家の没後100年を記念し、ヨーロッパにジャポニズムを巻き起こした氏の全貌を紹介する企画。作品点数200点の内、40点が海外美術館や、デンマーク王室所蔵作品で日本初公開。ガレが達成した広範な創造の世界と奥深い芸術への理解を深める機会を提供する。
- 観 覧 料 一般1,200円、大学・専門学校生960円、  
小中高生・65歳以上600円
- 関連事業 講演会
- ・ 1月22日「エミール・ガレ 芸術とメッセージ」  
フィリップ・ティエボー(オルセー美術館主任学芸員)
  - ・ 2月27日「エミール・ガレ ～創作の軌跡」鈴木潔(美術史家)
  - ・ 3月16日「アール・ヌーヴォー時代の食卓～  
19世紀の料理とこの春のレシピ」  
クリストフ・ポコ  
(ソフィテル東京 レストラン「プロヴァンス」シェフ)
- 体験教室
- ・ 1月29日「グラスリッツェン」宮澤淑恵・渡辺安子(ガラス工芸家)
  - ・ 2月26日「グラスクレイ」服部麻加(ガラス工芸家)
- コンサート
- ・ 2月12日 バレンタインコンサート  
「トロンボーンが奏でるガレの世界」松永英也(トロンボーン)
  - ・ 3月10日 スペシャルコンサート  
「トロンボーンが奏でるガレの世界」松永英也(トロンボーン)
- 入場者数 計136,648人 1日平均 2,316人(平成16年度)